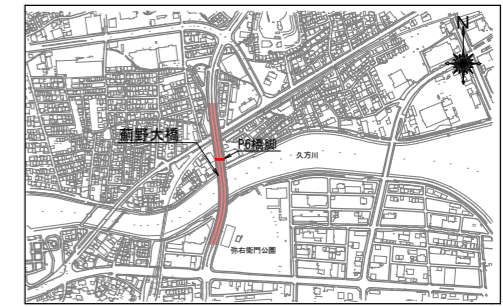
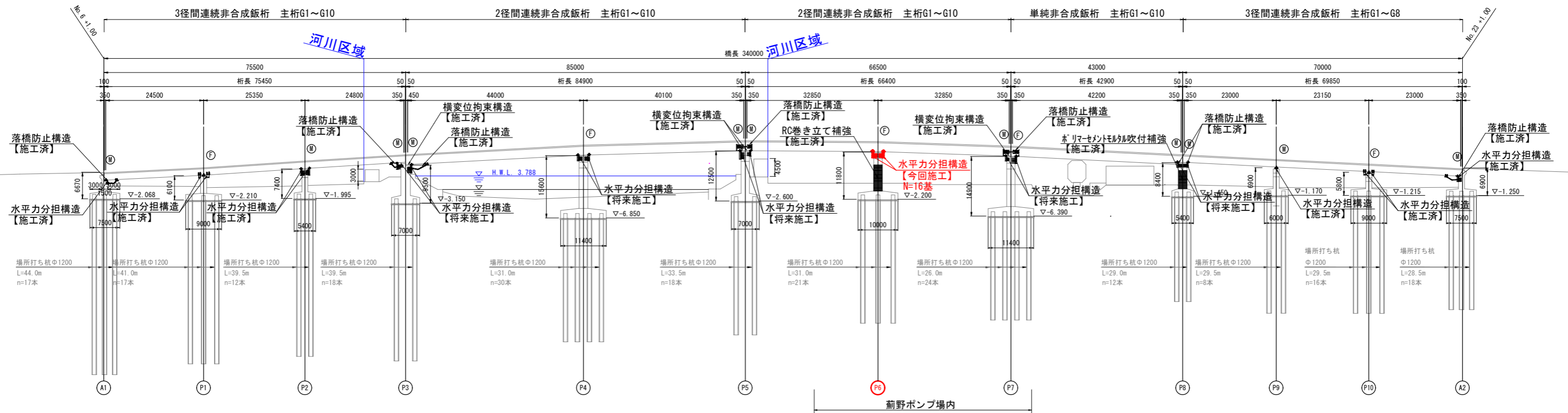


# 橋梁耐震補強工一般図 (その1)

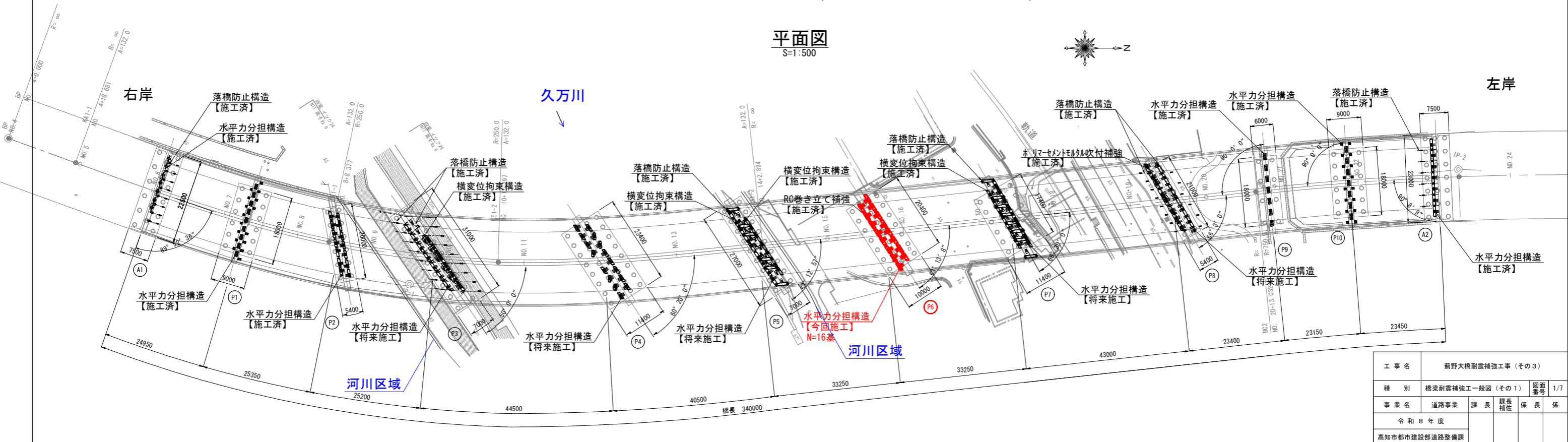
位置図  
S=1:10000



側面図  
S=1:500



平面図  
S=1:500



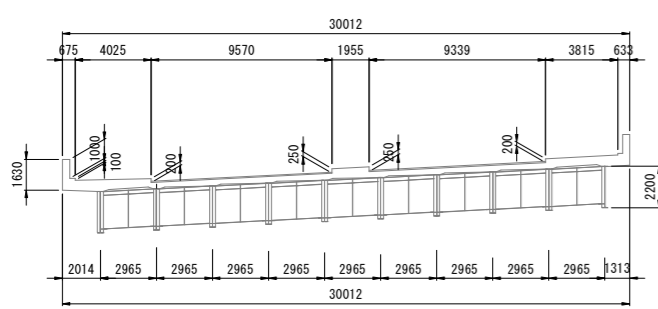
工事名	前野大橋耐震補強工事 (その3)		
種別	橋梁耐震補強工一般図 (その1)	図面番号	1/7
事業名	道路事業	課長	課長補佐
係長		係長	係
令和8年度			
高知市都市建設部道路整備課			

# 橋梁耐震補強工一般図 (その2)

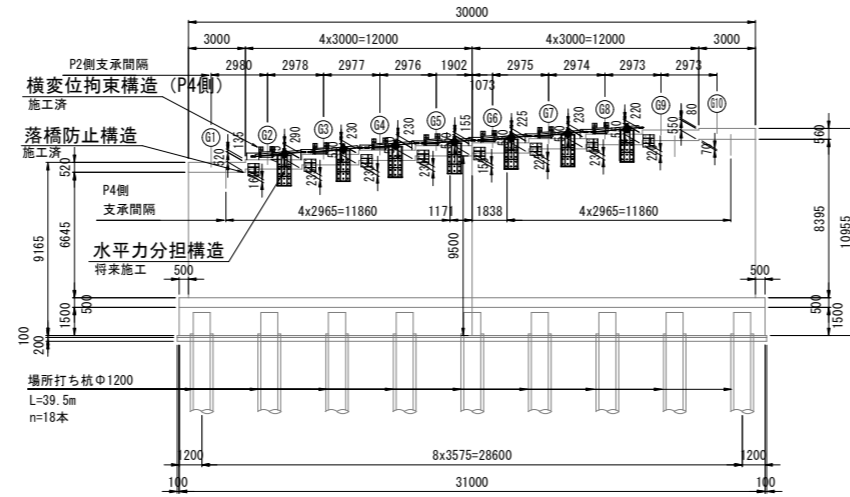
## 横断面図

S=1:200

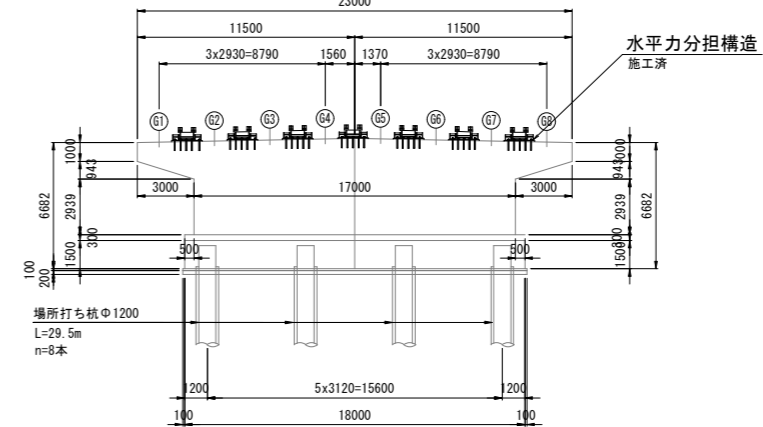
支点上上部工



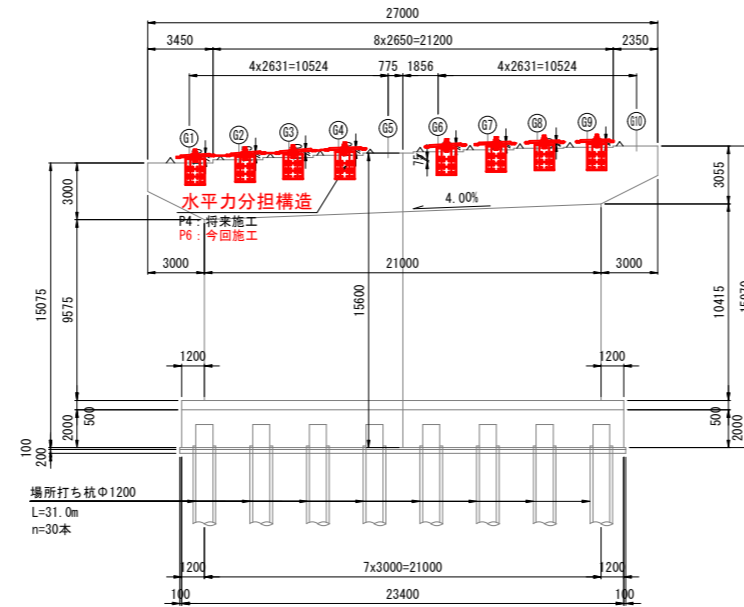
P3橋脚



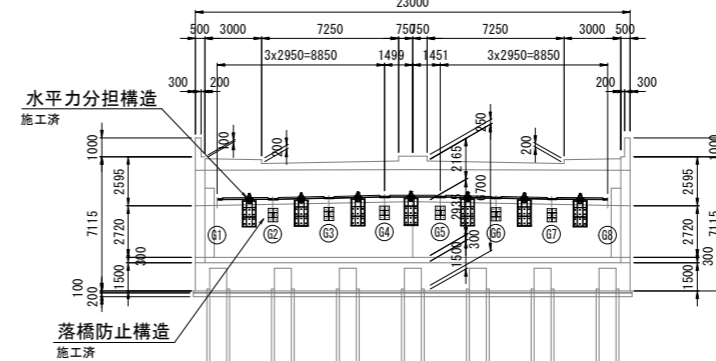
P9橋脚



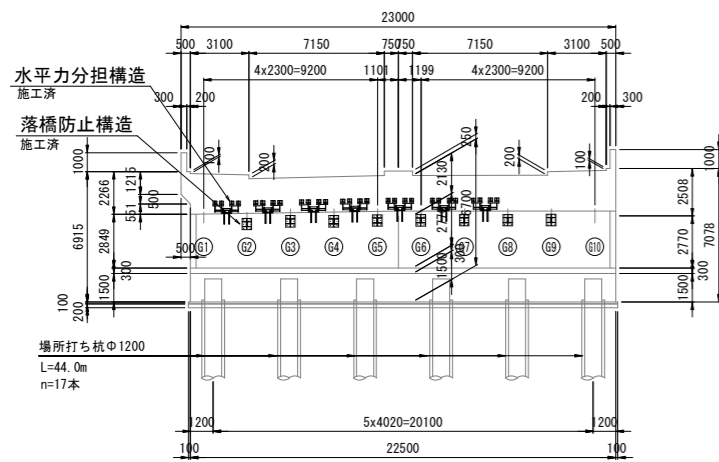
P4橋脚 (P6橋脚)



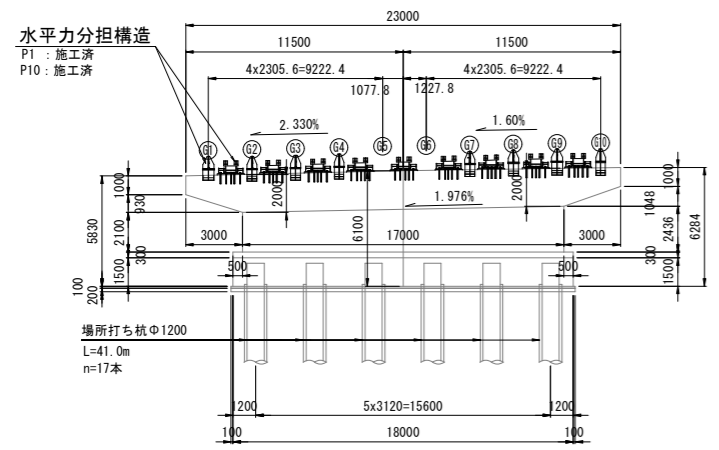
A2橋台



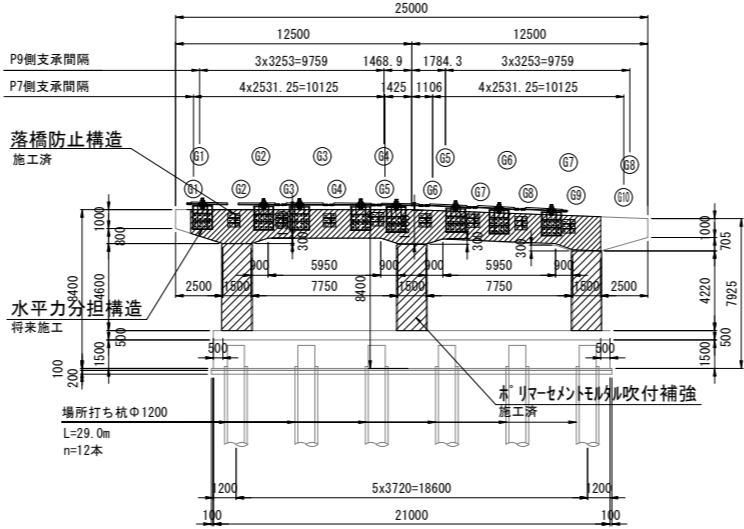
A1橋台



P1橋脚 (P10橋脚)



P8橋脚



### 既設橋設計条件

路線名	下知33号線
道路規格	第4種 第1級
橋略	1等橋
設計速度	V=50 km/h
荷重	TL-20
橋長	340.0m
径間長	24.95m+25.35m+25.20m+44.50m+40.50m+2*33.25m+43.00m+23.40m+23.15m+23.45m
有効幅員	23.0m
斜角	60° 20' 00" (道路CLと河川中心線の交角)
平面線形	R=250 ~ A=132 ~R=750
縦断勾配	6.000% ~ 5.000%
横断勾配	2.000% ~ 5.000%
舗装	アスファルト舗装 t=60 mm
構造形式	上部工 11径間鋼非合成板桁橋 下部工 逆T式橋台 (A1, A2) , 逆T型式橋脚 (P1~P10) 基礎工 場所打ち杭φ1200
使用材料	コンクリート 場所打ちRC床版: σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup> 鉄筋 SD295 使用鋼材 SS400, SM490Y, SM570 防錆仕様 一般塗装 コンクリート σ <sub>ck</sub> =21N/mm <sup>2</sup> 鉄筋 SD295 コンクリート σ <sub>ck</sub> =21N/mm <sup>2</sup> (呼び強度 σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup> ) 基礎 鉄筋 SD295
耐震条件	地震種別 III種地震 設計震度 kh=0.260
交差物件	久万川 高知県管理 河川改修済み 県道後免中島高知線 JR土讃線 公園 その他市道等
適用示方書	道路橋示方書 平成2年 その他
築設年次	平成8年6月

### 耐震設計条件

重要区分	B種の橋
地域区分	B1地域
通用示方書	道路橋示方書-同解説(平成24年3月) 既設橋の耐震補強設計に関する技術資料(国総研資料第700号)

### 橋梁補強工法一覧表

工種	種別
落橋防止構造 (施工済)	緩衝チェーン (A1, P3, P8, A2) 緩衝ベルト (P5, P7)
橋脚補強工 (施工済)	RC巻立補強 (P6) *リマーセメントモルタル吹付補強 (P8)
横変位拘束構造 (施工済)	RC壁突起 (P3, P5, P7)
支保部補強	水平力分担構造 (A1, P1~P10, A2)

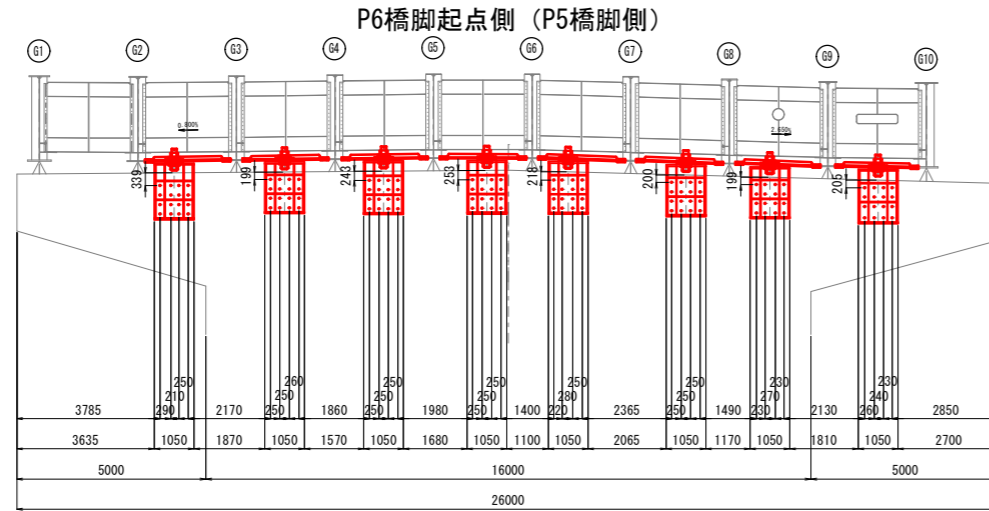
1) 道路橋示方書(平成24年3月)に基づく必要けたかり長は満足する。

工事名	新野大橋耐震補強工事 (その3)			
種別	橋梁耐震補強工一般図 (その2)	図面番号	2/7	
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長 係
令和8年度				
高知市都市建設部道路整備課				

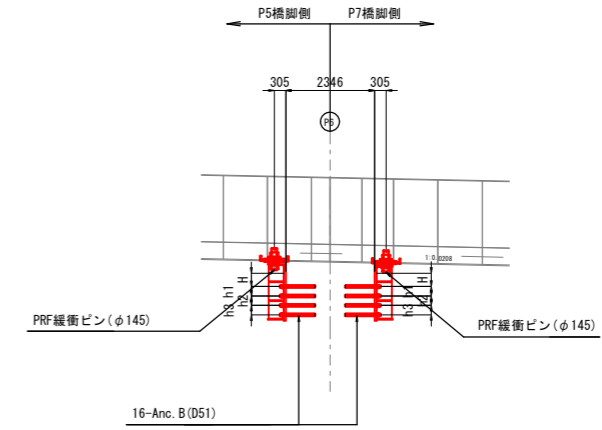
# P6橋脚水平力分担構造図（その1）

起点側(φ145)、終点側(φ145)  
(P6橋脚取付概要図 S=1:100)

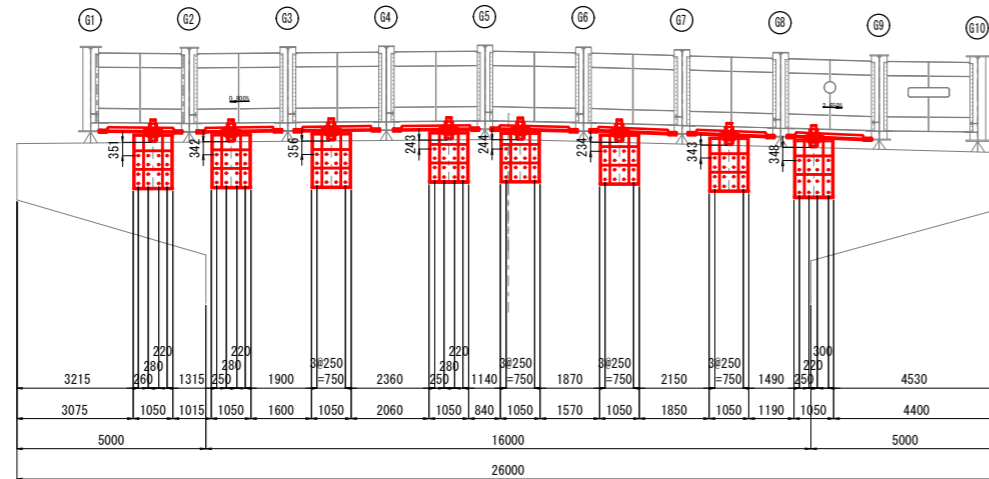
正面図



側面図



P6橋脚終点側 (P7橋脚側)



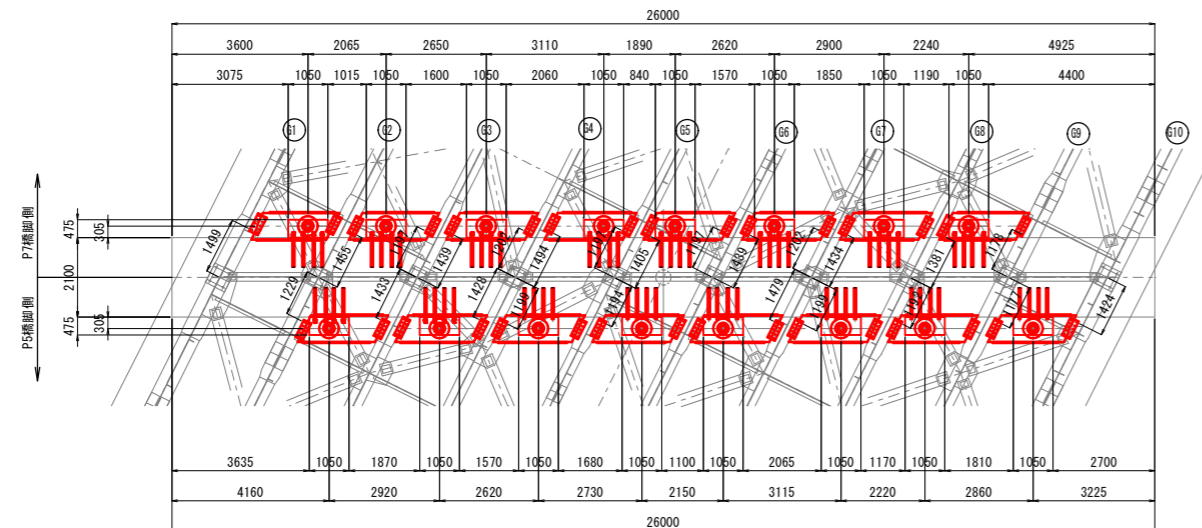
起点側

	H	h1	h2	h3
G1-G2	-	-	-	-
G2-G3	339	250	250	250
G3-G4	199	250	250	250
G4-G5	243	250	250	250
G5-G6	253	250	250	250
G6-G7	218	250	250	250
G7-G8	200	250	250	250
G8-G9	199	250	250	250
G9-G10	205	250	250	300

終点側

	H	h1	h2	h3
G1-G2	351	250	250	250
G2-G3	342	250	250	250
G3-G4	356	250	250	250
G4-G5	243	250	250	250
G5-G6	244	250	250	250
G6-G7	234	250	250	250
G7-G8	343	250	250	250
G8-G9	348	250	300	300
G9-G10	-	-	-	-

平面図



注記:

- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- PRF緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- PRF緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- アンカー定着は、既設躯体より、15φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。
- アンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。(溶融亜鉛メッキ規格:HDZT49)
- 上部工ブラケットはC-5塗装系のこと。(色番:42-30H)
- 下部工ブラケットは溶融亜鉛メッキのこと。(溶融亜鉛メッキ規格:HDZT77)
- 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。
- 高力ボルトの孔明けは、新規部材をφ26.5孔、主桁部をφ24.5孔とする。
- 特記なきスカーラップは全てR40とする。
- 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶け込み開先溶接を記す。

P6

工事名	荊野大橋耐震補強工事(その3)			
種別	P6橋脚水平力分担構造図(その1)	図面番号	3/7	
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長 係
令和8年度				
高知市都市建設部道路整備課				

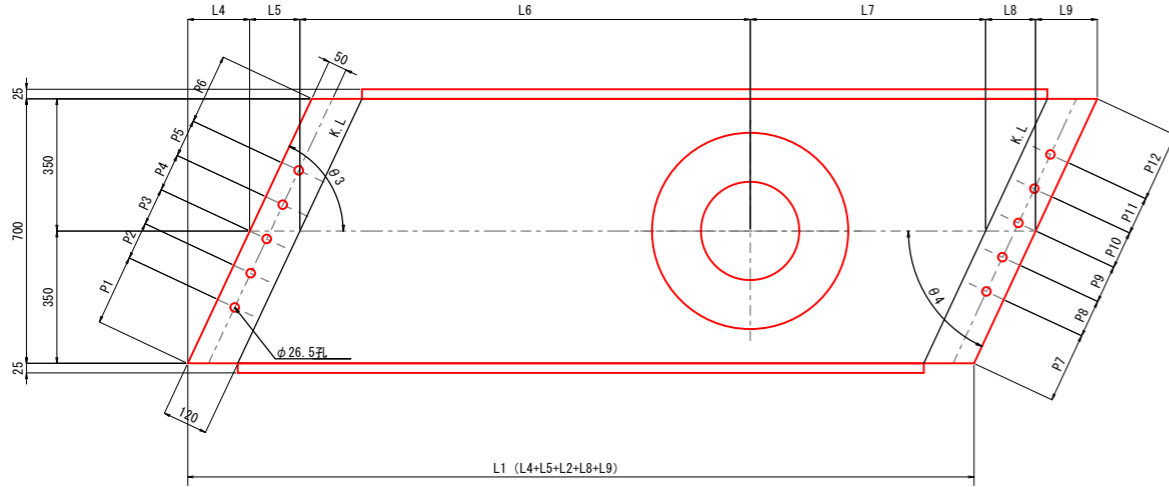
# P6橋脚水平力分担構造図（その2）

起点側(φ145)、終点側(φ145)  
(P6橋脚)

上部エブラケット詳細図

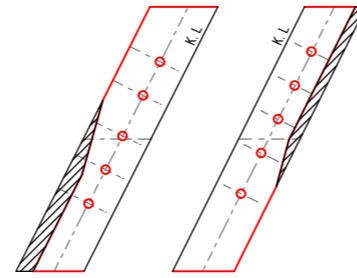
(製作数: 16)

S=1:10



切欠き部

終点側: G1-G2側 起点側: G9-G10側



(製作数: 1)

終点側: G5-G6

- 1- Base PL 700x32x L1 (SM490B) (Net: N%)
- 2- Fig PL 120x25x L2 (SM490A)
- 2- Cov PL 520x tx520 (SM490B) (Net: 59%)
- 2- Spl PL 210x22x560 (SM490A)
- 2- Spl PL 210x22x500 (SM490A)
- 1- Fill PL 100x5x560 (SS400)
- 1- Fill PL 100x6x500 (SS400)
- 20- T. C. B M22x120 (S10T)

(製作数: 1)

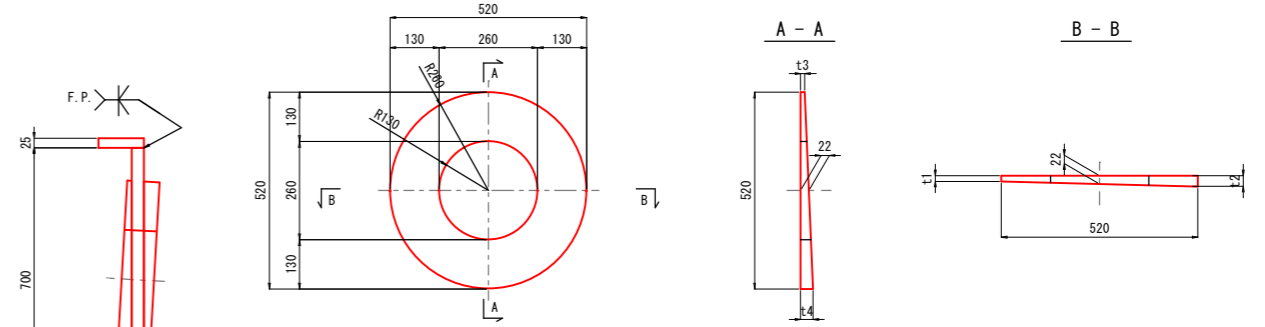
起点側: G9-G10

- 1- Base PL 700x32x L1 (SM490B) (Net: N%)
- 2- Fig PL 120x25x L2 (SM490A)
- 2- Cov PL 520x tx520 (SM490B) (Net: 59%)
- 2- Spl PL 210x22x500 (SM490A)
- 2- Spl PL 235x22x520 (SM490A)
- 1- Fill PL 100x5x500 (SS400)
- 1- Fill PL 100x 7x100 (SS400)
- 20- T. C. B M22x120 (S10T)

補強板詳細図

(製作数: 32)

S=1:10



(製作数: 9)

- 1- Base PL 700x32x L1 (SM490B) (Net: N%)
- 2- Fig PL 120x25x L2 (SM490A)
- 2- Cov PL 520x tx520 (SM490B) (Net: 59%)
- 2- Spl PL 210x22x500 (SM490A)
- 2- Spl PL 210x22x500 (SM490A)
- 1- Fill PL 100x5x500 (SS400)
- 1- Fill PL 100x6x500 (SS400)
- 20- T. C. B M22x120 (S10T)

(製作数: 3)

起点側: G3-G4 終点側: G7-G8  
起点側: G5-G6

- 1- Base PL 700x32x L1 (SM490B) (Net: N%)
- 2- Fig PL 120x25x L2 (SM490A)
- 2- Cov PL 520x tx520 (SM490B) (Net: 59%)
- 2- Spl PL 210x22x500 (SM490A)
- 2- Spl PL 210x22x540 (SM490A)
- 1- Fill PL 100x5x500 (SS400)
- 1- Fill PL 100x6x540 (SS400)
- 20- T. C. B M22x120 (S10T)

(製作数: 1)

終点側: G8-G9

- 1- Base PL 700x32x L1 (SM490B) (Net: N%)
- 2- Fig PL 120x25x L2 (SM490A)
- 2- Cov PL 520x tx520 (SM490B) (Net: 59%)
- 2- Spl PL 210x22x500 (SM490A)
- 2- Spl PL 235x22x590 (SM490A)
- 1- Fill PL 100x5x500 (SS400)
- 1- Fill PL 100x10x590 (SS400)
- 20- T. C. B M22x120 (S10T)

起点側

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	N
G1-G2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G2-G3	2385	1769	1729	174	134	522	1247	134	174	84
G3-G4	2430	1814	1774	174	134	869	944	134	174	84
G4-G5	2430	1814	1774	174	134	894	920	134	174	86
G5-G6	2418	1802	1762	174	134	1006	796	134	174	86
G6-G7	2432	1815	1775	174	134	549	1264	134	175	85
G7-G8	2427	1809	1769	175	134	1069	739	134	175	86
G8-G9	2377	1759	1719	175	134	666	1092	134	175	87
G9-G10	2331	1713	1673	175	134	885	827	162	147	87

起点側

※ \*印は、フィラープレート詳細図を参照のこと。

	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	t	t1	t2	t3	t4	t5	t6	
G1-G2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G2-G3	141	100	100	100	100	241	191	100	100	100	100	191	27	17.4	26.6	18.1	25.9	4.5	10	
G3-G4	202	100	140	100	100	140	191	100	100	100	100	191	27	17.2	26.8	18.4	25.6	10	10	
G4-G5	191	100	100	100	100	191	191	100	100	100	100	191	28	16.8	27.2	18.6	25.4	10	10	
G5-G6	191	100	100	100	100	191	192	100	140	100	100	150	28	16.7	27.3	22.2	21.8	10	10	
G6-G7	191	100	100	100	100	191	141	100	100	100	241	32	16.7	27.3	12.9	31.1	10	10		
G7-G8	191	100	100	100	100	191	191	100	100	100	100	191	32	16.4	27.6	12.4	31.5	10	10	
G8-G9	191	100	100	100	100	191	191	100	100	100	100	191	32	16.2	27.8	12.2	31.8	10	7	
G9-G10	191	100	100	100	100	191	192	120	100	100	100	158	28	15.8	28.2	17.2	26.8	7	*	

終点側

※ \*印は、フィラープレート詳細図を参照のこと。

	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	t	t1	t2	t3	t4	t5	t6
G1-G2	246	100	100	120	100	118	242	100	100	100	100	142	27	17.7	26.3	19.5	24.5	10	*
G2-G3	192	100	100	100	100	192	192	100	100	100	100	192	27	17.4	26.6	18.1	25.9	4.5	10
G3-G4	192	100	100	100	100	192	192	100	100	100	100	192	27	17.2	26.8	19.0	25.0	10	10
G4-G5	252	100	100	100	100	132	192	100	100	100	100	192	28	16.8	27.2	19.2	24.8	10	10
G5-G6	158	100	100	140	120	167	192	100	100	100	100	192	29	16.7	27.3	15.9	28.1	10	10
G6-G7	192	100	100	100	100	192	192	100	100	100	100	192	32	16.7	27.3	12.3	31.7	10	10
G7-G8	192	100	100	100	100	192	153	100	100	140	100	191	32	16.4	27.6	12.2	31.8	10	10
G8-G9	132	100	100	100	190	162	192	100	100	100	100	192	33	16.2	27.8	11.6	32.4	10	*
G9-G10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

起点側

	θ1	θ2	θ3	θ4
G1-G2	-	-	-	-
G2-G3	179° 3' 40"	179° 3' 40"	63° 34' 55"	63° 33' 56"
G3-G4	179° 8' 50"	179° 8' 50"	63° 33' 56"	63° 32' 56"
G4-G5	179° 10' 44"	179° 10' 44"	63° 32' 56"	63° 31' 57"
G5-G6	180° 3' 17"	180° 3' 17"	63° 31' 57"	63° 30' 58"
G6-G7	182° 10' 44"	182° 10' 44"	63° 30' 58"	63° 29' 58"
G7-G8	182° 16' 50"	180° 16' 50"	63° 29' 58"	63° 28' 59"
G8-G9	182° 20' 45"	182° 20' 45"	63° 28' 59"	63° 28' 0"
G9-G10	181° 8' 13"	181° 8' 13"	63° 28' 0"	63° 27' 0"

終点側

	θ1	θ2	θ3	θ4
G1-G2	180° 36' 11"	180° 36' 11"	63° 10' 18"	63° 10' 56"
G2-G3	179° 3' 34"	179° 3' 34"	63° 10' 56"	63° 11' 33"
G3-G4	179° 16' 21"	179° 16' 21"	63° 11' 33"	63° 12' 11"
G4-G5	179° 20' 9"	179° 20' 9"	63° 12' 11"	63° 12' 49"
G5-G6	181° 26' 58"	181° 26' 58"	63° 12' 49"	63° 13' 28"
G6-G7	182° 18' 36"	182° 18' 26"	63° 13' 28"	63° 14' 7"
G7-G8	182° 20' 46"	182° 20' 46"	63° 14' 7"	63° 14' 46"
G8-G9	182° 28' 42"	182° 28' 42"	63° 14' 46"	63° 15' 26"
G9-G10	-	-	-	-

注記:

- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- PRF緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- PRF緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- アンカー定着は、既設躯体より、15φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。
- アンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。(溶融亜鉛メッキ規格: HDZ149)
- 上部エブラケットはC-5塗装のこと。(色番: 42-30H)
- 下部エブラケットは溶融亜鉛メッキのこと。(溶融亜鉛メッキ規格: HDZ177)
- 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。
- 高力ボルトの孔明けは、新規部材をφ26.5孔、主桁部をφ24.5孔とする。
- 特記なきスカーラップは全てRA0とすること。
- 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶け込み開先溶接を記す。

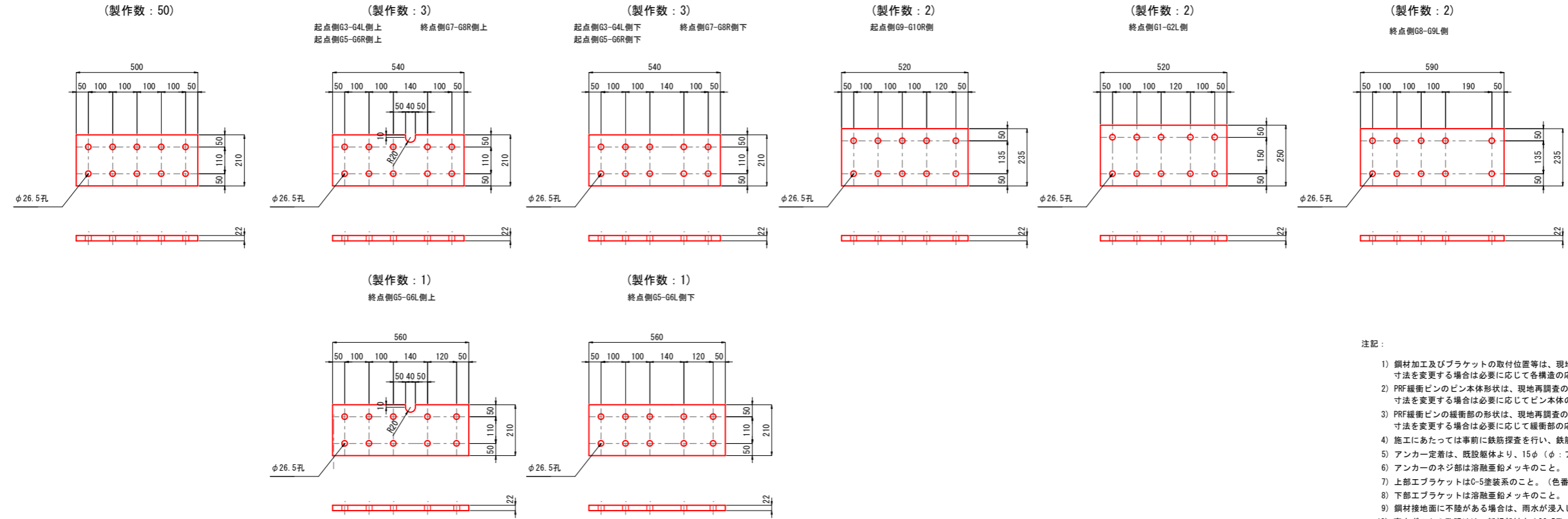
工事名	新野大橋耐震補強工事(その3)			
種別	P6橋脚水平力分担構造図(その2)	図面番号	4/7	
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長
令和8年度				
高知市都市建設部道路整備課				

# P6橋脚水平力分担構造図（その3）

起点側(φ145)、終点側(φ145)  
(P6橋脚)

## 添接板詳細図

S=1:10

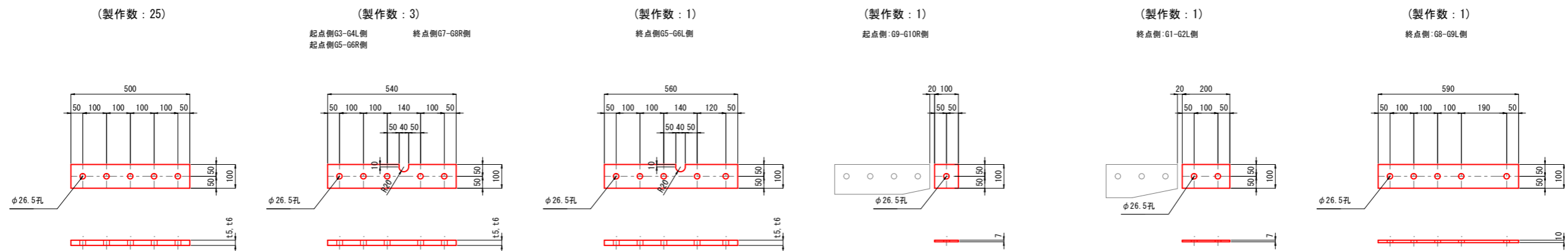


注記:

- 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- PRF緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- PRF緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- アンカー定着は、既設躯体より、15φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。
- アンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。(溶融亜鉛メッキ規格:HDZT49)
- 上部エブラケットはC-5塗装系のこと。(色番:42-30H)
- 下部エブラケットは溶融亜鉛メッキのこと。(溶融亜鉛メッキ規格:HDZT77)
- 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。
- 高カボルトの孔明けは、新規部材をφ26.5孔、主桁部をφ24.5孔とする。
- 特記なきスカーップは全てR40とすること。
- 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶け込み開先溶接を記す。

## フィラープレート詳細図

S=1:10



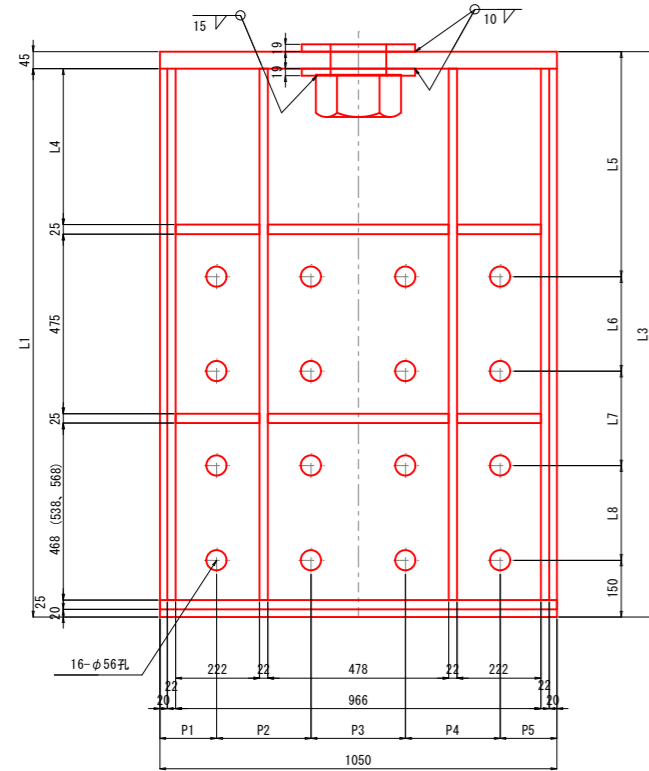
工事名	荊野大橋耐震補強工事(その3)			
種別	P6橋脚水平力分担構造図(その3)	図面番号	5/7	
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長
令和8年度				
高知市都市建設部道路整備課				

# P6橋脚水平力分担構造図 (その4)

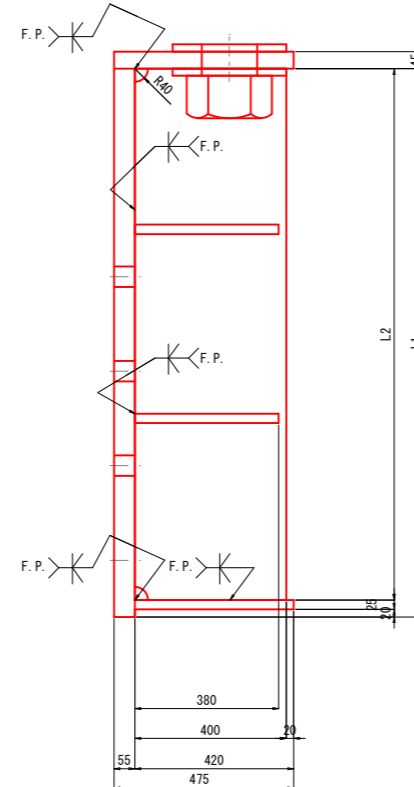
起点側(φ145)、終点側(φ145)  
(P6橋脚)

下部エブラケット詳細図  
(製作数: 16)

S=1:10



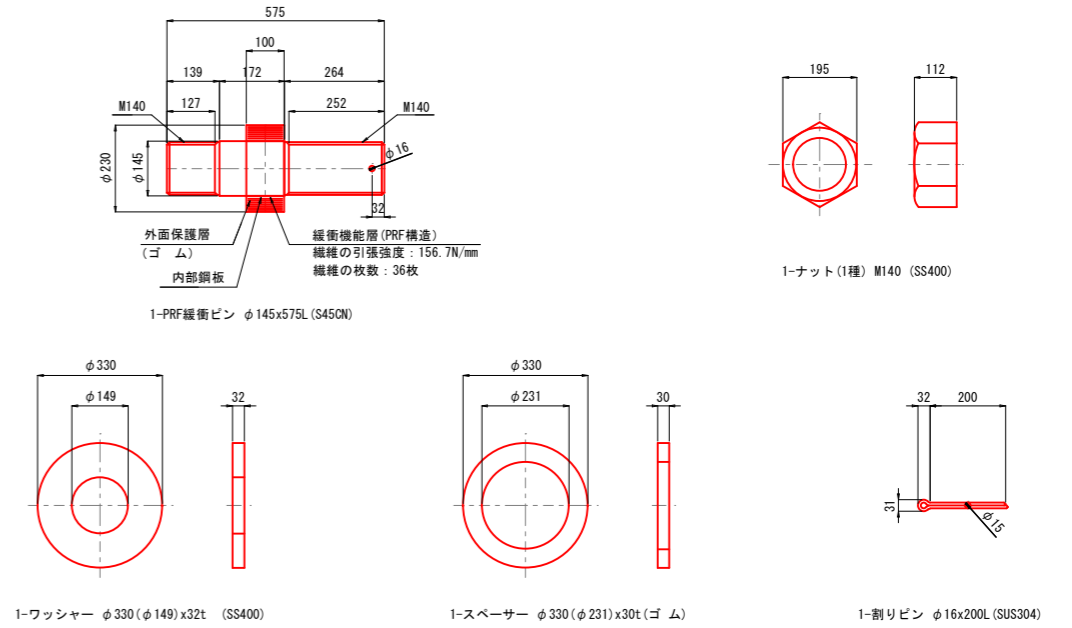
※( )内寸法は、起点側G9-G10間(538)、終点側G8-G9間(568)を示す。



- 1- Base PL 1050x55x L1 (SM490C-H)
- 1- Flg PL 475x45x1050 (SM490C-H)
- 2- Cov PL 300x19x 300 (SM490A) (Net:59%)
- 4- Rib PL 400x22x L2 (SM490A)
- 4- Rib PL 380x25x 222 (SM490A)
- 2- Rib PL 380x25x 478 (SM490A)
- 1- Rib PL 420x25x1050 (SM490A)
- 1- Nut (1種) M140 (SS400)
- 16- Anc. B D51x915 (SD345)
- 16- Nut (1種、3種) M48 (SS400)
- 16- Wash M48 (SS400)

φ145  
PRF緩衝ピン詳細図  
(製作数: 16)

S=1:10



起点側

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	P1	P2	P3	P4	P5
G1-G2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G2-G3	1450	1405	1495	412	595	250	250	250	150	290	210	250	150
G3-G4	1320	1275	1365	282	465	250	250	250	150	250	250	250	150
G4-G5	1370	1325	1415	332	515	250	250	250	150	250	250	250	150
G5-G6	1370	1325	1415	332	515	250	250	250	150	250	250	250	150
G6-G7	1350	1305	1395	312	495	250	250	250	150	220	280	250	150
G7-G8	1325	1280	1370	287	470	250	250	250	150	250	250	250	150
G8-G9	1325	1280	1370	287	470	250	250	250	170	230	270	230	150
G9-G10	1395	1350	1440	287	490	250	250	300	170	260	240	230	150

終点側

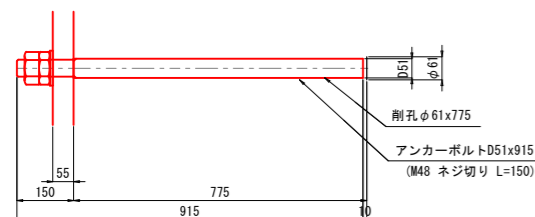
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	P1	P2	P3	P4	P5
G1-G2	1420	1375	1465	382	565	250	250	250	140	260	280	220	150
G2-G3	1400	1355	1445	362	545	250	250	250	150	250	280	220	150
G3-G4	1420	1375	1465	382	565	250	250	250	150	250	250	250	150
G4-G5	1310	1265	1355	272	455	250	250	250	150	250	280	220	150
G5-G6	1300	1255	1345	262	445	250	250	250	150	250	250	250	150
G6-G7	1305	1260	1350	267	450	250	250	250	150	250	250	250	150
G7-G8	1405	1360	1450	367	550	250	250	250	150	250	250	250	150
G8-G9	1510	1465	1555	372	555	250	300	300	150	250	220	300	130
G9-G10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注記:

- 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 2) PRF緩衝ピンのピン本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
- 3) PRF緩衝ピンの緩衝部の形状は、現地再調査の上、最終決定すること。寸法を変更する場合は必要に応じて緩衝部の応力計算を行うこと。
- 4) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
- 5) アンカー定着は、既設躯体より、15φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。
- 6) アンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキのこと。(溶融亜鉛メッキ規格: HDZ149)
- 7) 上部エブラケットはC-5塗装のこと。(色番: 42-30H)
- 8) 下部エブラケットは溶融亜鉛メッキのこと。(溶融亜鉛メッキ規格: HDZ177)
- 9) 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。
- 10) 高力ボルトの孔明けは、新規部材をφ26.5孔、主桁部をφ24.5孔とする。
- 11) 特記なきスカーラップは全てR40とすること。
- 12) 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶け込み開先溶接を記す。

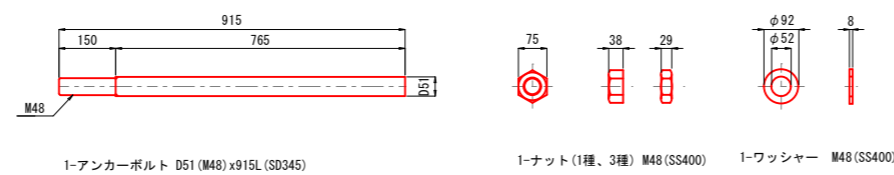
下部エアンカーボルト取付詳細図

S=1:10



下部エアンカーボルト詳細図

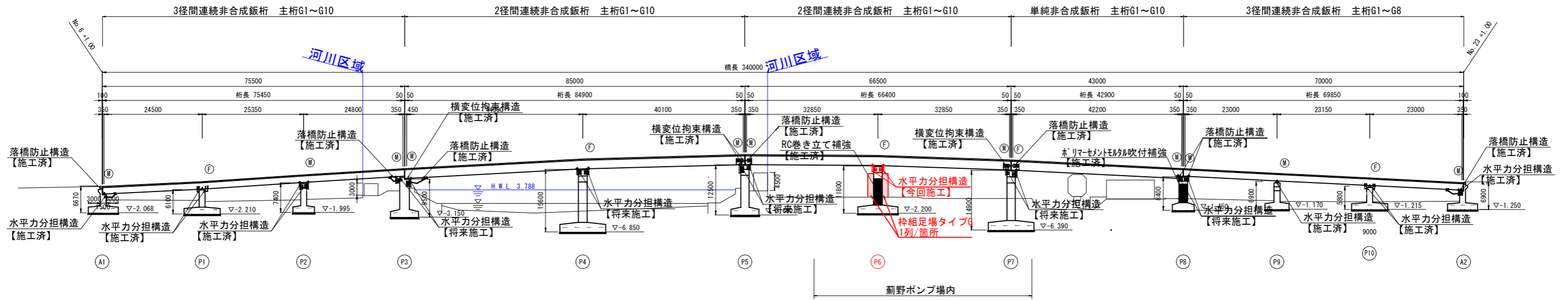
S=1:10



工事名	荻野大橋耐震補強工事 (その3)			
種別	P6橋脚水平力分担構造図 (その4)	図面番号	6/7	
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長
令和8年度				
高知市都市建設部道路整備課				

# 仮設工図（参考図）

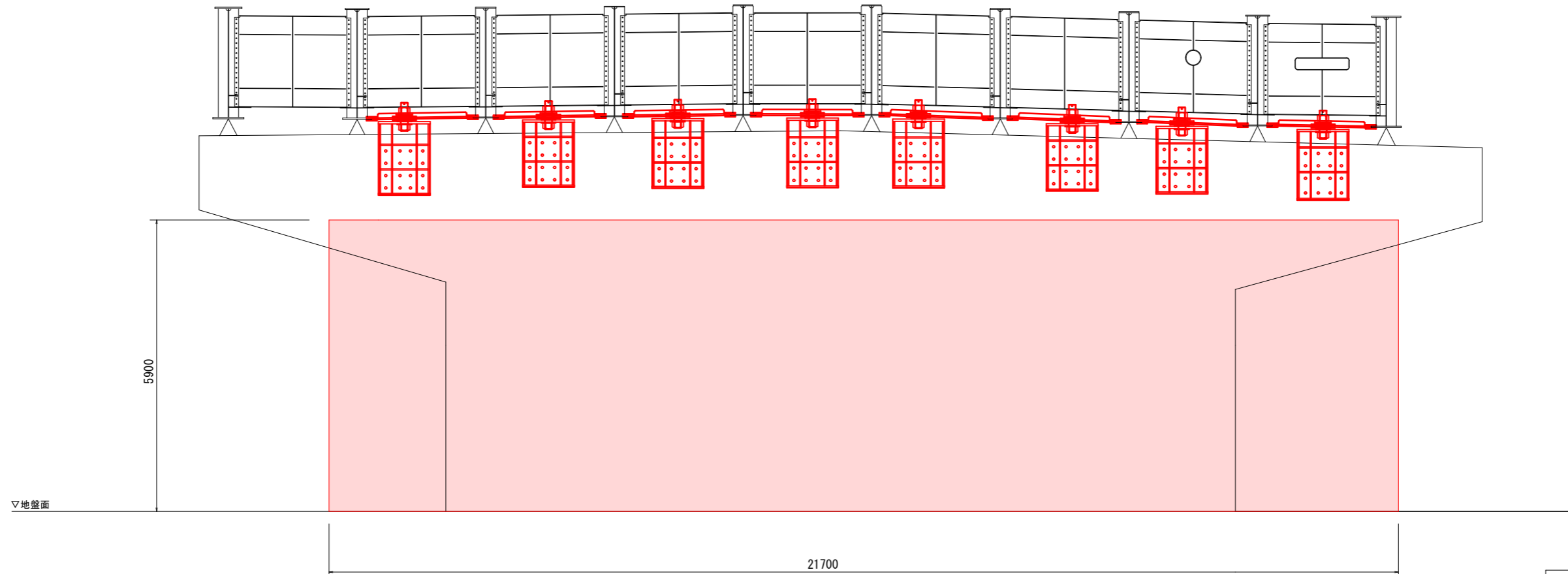
側面図  
S=1:500



正面図  
S=1:50

P6橋脚起点側（P5橋脚側）

※P6橋脚終点側（P7橋脚側）についても同様



面積A0 = 21.7m \* 5.9m \* 2箇所 ≒ 256 掛㎡

工事名	薊野大橋耐震補強工事（その3）			
種別	仮設工図（参考図）	図面番号	7/7	
事業名	道路事業	課長	課長補佐	係長 係
令和8年度				
高知市都市建設部道路整備課				